

# 臨床医のための 最新整形外科

編集主幹

平澤泰介、三浪明男、戸山芳昭

編集顧問

糸満盛憲、望月一男

編集委員

井樋栄二、石黒直樹、久保俊一、吉川秀樹、  
越智光夫、小宮節郎、寺田弘司

先端医療技術研究所

ISBN978-4-925089-56-2

**兵庫**

## 市立伊丹病院整形外科

**1 施設概要**  
市立伊丹病院は昭和32年9月に6診療科100床の病院として開設し、手技になったことから昭和58年4月18日に現在の自然が多く開緑地の敷地6.6ヘクタールの新病院として竣工し、運営を開始しました。現在は許可病床数414床の病院で、近くには大阪国際（伊丹）空港があり、更にJR西日本や関西空港による比較的アクセスの良い立地条件で、阪神北園地区に位置した人口約19万7千の伊丹市民の健康と命を守る地域の中核病院として発展しています。

医師は大阪大学、大阪医科大学、大阪医科大学、兵庫医科大学からの支援を受け、現在の医師数は122名であり、診療科としては消化器内科、呼吸器内科、血液内科、泌尿器内科、循環器内科、老年内科、アレルギー・皮膚科、外科、呼吸器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻いんご科、脳神経科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科の22診療科があります。臨床研修医は1学年6名で、DPC対象病院、兵庫県指定がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、日本医療機能評価機構からの指定や認可を受けています。

自治体病院にとっても新しい時代となっていますが、新しい経営は「市立伊丹病院改革プラン」を遂行することによって単年度の黒字経営が2年連続しており、病院職員は継続した努力により今年度も黒字になるものと考えています。

**2 施設理念・方針と現状**  
病院の理念は「私たちは、安全で、安心で、信頼される医療を提供します」で、これを具現化するために「安全で、質の高い医療を、患者さまを中心に、近隣医師会の「かみりつしん」により連携して、各科専門医と協働を含めたチーム医療として診療を行っています。

5年前には医師数は60名でしたが、若い医師を中心に医師数が増加してきており、現在は専門医の資格を持った医師58名を含む100名超の医師数になっています。また、3年前からは呼吸器外科、老年内科、アレルギー・皮膚科が開設されています。

平成23年度の外来患者数は167,178人、入院患者数は111,432人、平均在院日数は13.6日です。手術数は2,781件です。2次救急医療に

**3 整形外科・人工関節センター**  
平成25年1月1日から、「人工関節センター」を開設しました。整形外科外来と併設する「人工関節センター」は患者指導と人工関節手術を行うための専任とした講座（もも）を確保するために、大型スクリーンを備えた講義室があります。また、関節部（膝関節）の患い方も使用し幅広い目的に利用も揃えています。安全で質の高い手術を患者さまに提供するため、整形外科部のみが対応しなかった「もも」を確保するために、大型スクリーンを備えた講義室があります。また、関節部（膝関節）の患い方も使用し幅広い目的に利用も揃えています。安全で質の高い手術を患者さまに提供するため、整形外科部のみが対応しなかった「もも」を確保するために、大型スクリーンを備えた講義室があります。

**4 骨髄外科**  
骨髄によって引き起こされる骨髄炎、骨髄のしびれ、痛み、筋力低下、手の握力低下、歩行障害などがあげられます。原因の多くは骨髄の炎症や感染ですが、時には感染や腫瘍性疾患などの原因も考えられます。近年は骨髄炎の増加に伴い、骨髄炎による運動性障害や歩行障害が増えています。

病気が進行して日常生活に支障をきたすような場合には、早期に手術療法を求め、それにも関わらず症状が進行し手術療法が困難な場合は、骨髄と考えられる場合は、手術療法を考慮しています。骨髄の病変にクリオセラピーを用いて、およそ2週間から3週間で回復を目指して、入院治療の軽減を心がけています。

市立伊丹病院整形外科

平成24年1月～12月の手術件数

手術種別	件数
人工関節置換術	452件
人工関節置換術	216件
関節鏡視下手術	31件
関節鏡視下手術	21件
関節鏡視下手術	109件
内視鏡手術	209件
その他の手術	179件
合計	1,019件

平成24年1月～12月の手術件数

関節疾患の多さは、一歩一歩と変化が進行するために「年次から」として「手術件数」を積み重ねていく方針が少なからずあります。症状が進むと、関節の痛みや、歩く、走るなどの日常生活に支障をきたし、痛みや不安など深刻な状態になることがあります。治療の是非や、手術を行うか悩むのが、患者さまの悩みの一つです。生活の質を高め、歩行を妨げないような治療を提案することや、下腿の筋力強化が大切です。現在は人工関節置換術が中心です。人工関節置換術は、人工関節を関節に埋め込み、関節の機能を回復させる治療です。人工関節置換術は、人工関節を関節に埋め込み、関節の機能を回復させる治療です。人工関節置換術は、人工関節を関節に埋め込み、関節の機能を回復させる治療です。

平成24年度の外来患者数は167,178人、入院患者数は111,432人、平均在院日数は13.6日です。手術数は2,781件です。2次救急医療に

**5 関節リウマチ**  
内科的な治療はアブゾール・免疫抑制剤が中心で、手術が必要な場合には整形外科が外科的治療を担当しています。最新の医学的知見に基づき最新の手術機器を用いて、最小侵襲手術を心がけています。また、施設内カンファレンスにより、情報の管理や発信を行っています。

**6 外傷**  
骨折、脱臼などによる一般外傷、交通事故から骨粗鬆症による骨折まで幅広く対応しています。3DCTやMRI、3D検査などの最先端画像診断を放射線科の協力のもとに連携し、手術適応や術式選択に役立っています。常に最新の医学的知見に基づき最新の手術機器を用いて、最小侵襲手術を心がけています。また、施設内カンファレンスにより、情報の管理や発信を行っています。

**7 おわりに**  
市立伊丹病院整形外科では、以上のように患者さまに最新の治療・技術を安全に安心して提供することを心がけています。それを維持・発展させるべく、国内外を問わず学会活動を通して情報の

市立伊丹病院整形外科

人工関節センターでの集合写真

3階西病棟の看護士さん達

手術室の看護士さん達

4階西病棟の看護士さん達

5 関節リウマチ

6 外傷

7 おわりに

概要	
名	市立伊丹病院
開設年	昭和32年
院長	藤原保彦
病院事業管理者	中田隆三
許可病床数	414床
診療科	22診療科
病床稼働率	82.00%
平均在院日数	13.6日
受入床数	781
入院患者数	< 111,432人
外来患者数	< 167,178人
手術件数	2,788件